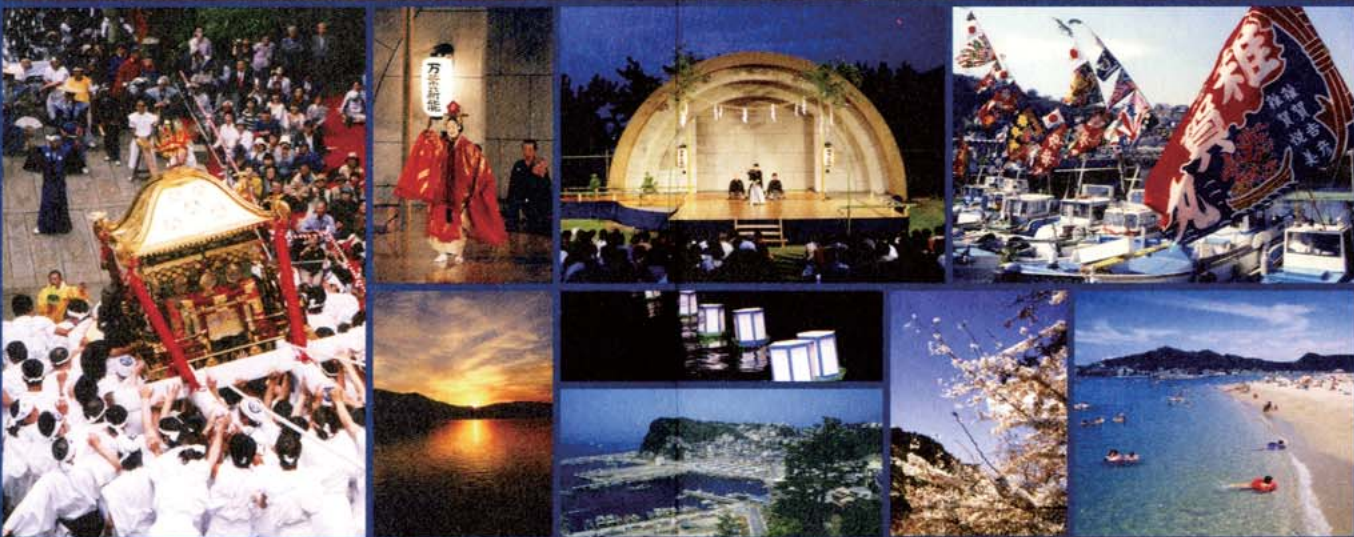


五感で歩こう〜手作りマップ〜

魅 せ ら れ た 和 歌 の 浦

魅せられて、和歌の浦。

古代より多くの人がここ「和歌の浦」を訪れ
歴史を刻んでゆきました。
リアス式海岸の優美な景観と今も残る伝承や建造物。
潮風にさらされて、ゆったりと歩けば、
彼らがここに魅せられた理由が
きっと見つかるはずです。



和歌の浦 主な行事

旧正月(毎年旧暦元旦)
開催地/雑賀崎

桜まつり(毎年三月下旬)
四月月上旬
開催地/和歌の浦

和歌祭(毎年五月上旬)
開催地/紀州東照宮
<http://www.wakamatsuri.com/>

港まつり(毎年七月二十日)
開催地/幕港

天神祭り(毎年七月二十四・二十五日)
開催地/和歌浦天満宮

千日詣(毎年八月九日)
開催地/紀三井寺

海水浴(毎年七月・八月末)
開催地/片男波海岸

精霊流し(毎年八月下旬)
開催地/和歌浦あしへ橋北詰
<http://imosefutatabi.net/>

夕日を見る会(毎年三月・九月)
開催地/雑賀崎
彼岸の中日

<http://www.jtw.zaqqe.jp/cfmg608/newspage1.htm>

万葉新能(毎年十月上旬)
開催地/片男波公園

<http://www.wakanoura.npo.jp.net/>

おととと広場(春秋)
開催地/和歌浦漁港

<http://www.wakanoura.ecnet.jp/index.html>

心解いて、歩いてみよう。

干潟に浴って歩けば、そこから広がる史跡の宝庫。いにしえの心にたっぷり触れ、和歌浦湾を囲む小さな山々で息吹きを感じ散策すれば、心も和みリフレッシュ。また、美しい青石海岸や、南欧を思わせる漁村では、懐かしい思いや遠い記憶を思い出し、さらに、迷路のような路地を抜ければ、日本一の海岸美が広がる事でしょう。さあ、あなたなりの「和歌の浦」を歩いて見て感じて発見してみてください。



五 玉津島神社
(タマツシマジンジャ)
Tamatsushima Shrine

万葉歌人の信仰を集めた神社
明光浦（あかのうら）の御霊、衣通姫など女神三神が祀られる。一角に安産祈願で有名な青石の祠／塩竈神社がある。眺望の良い奠供山は神事の道具を供えた場所。



六 紀州東照宮
(キシユウトウショウグウ)
Kishu Toshogu Shrine

関西の日光と呼ばれる神社
祭神は家康公、本殿、拜殿・楼門などは国の重要文化財。和歌祭は東照宮創建から続く祭礼。



七 和歌浦天満宮
(ワカウラテンマングウ)
Wakaura Tenmangu Shrine

学問の神様



四 妹背山
(イモセヤマ)
M. Imoseyama

和歌山最古の石橋を渡って行く海中の小山
題目碑や、十五万個の経石を納めた文化財／多宝塔がある。養珠院は家康の三十三回忌に平和をここに祈願し、経石を収めた。頼宣は母／養珠院をここに偲んで、多宝塔を建立した。一對の題目碑がある事から夫婦の古称「妹背」が山名となった。



二 和歌浦干潟
(ワカウラヒガタ)
Wakaura Higata

万葉歌人にも愛された雄大な景観
片手をふる蟹「シオマネキ」などの稀少生物が生息する重要な干潟（環境省指定）。近年まで有名な海苔の産地であった。



一 片男波公園
(カタオナミコウエン)
Katami Park

昭和天皇御在位六十年記念公園
日本を代表する砂州。日本庭園、万葉歌碑、野外ステージや環境省「快水浴場百選」の特選に選ばれたビーチがある。赤人が詠んだ和歌の一篇からついた地名。



祭神は菅原道真。本殿・楼門等は国の重要文化財。合格祈願に訪れる受験生が多く、地域の氏神でもある。



九



雑賀崎
(サイカザキ)
Saikazaki

大漁旗で旧正月を祝う漁村。教如上人が、追っ手の目を逃れて隠れた上人窟や江戸時代のノロシ場跡など史跡も多い。雑賀崎灯台から眺める夕日は幻想的で、漁村の街並みは南欧を思わせる。



●和歌の浦周遊コース
(所要時間約六時間／約十三・八km／約六百七十八kcal)

片男波を朝スタートし、歩いて行けば雑賀崎灯台に着く頃には、美しい夕日が迎えてくれるかもしれません。また、夜十時ごろまで観光遊歩道に明かりが灯るので、潮風を感じながら歩いてみては…

- ① 片男波公園から ⑦ 和歌浦天満宮
約二、六四km／約四十分
- ⑦ 和歌浦天満宮から ⑧ 章魚頭姿山頂上
約一、八五km／約四十五分
- ⑧ 章魚頭姿山頂上から雑賀崎灯台
約三、七四km／約一時間十五分

- ① 片男波公園
- ② 和歌浦干潟
- ③ 不老橋
- ④ 妹背山
- ⑤ 玉津島神社
- ⑥ 紀州東照宮
- ⑦ 和歌浦天満宮
- 和歌公園入り口
- ⑧ 章魚頭姿山頂上
- ⑨ 雑賀崎街並み(衣美須神社)
- 雑賀崎灯台



★他にも左記のコースがございます。時間の許す限り御堪能下さい。

- 海岸コース(所要時間約二時間／約三・五km／約百六十四kcal)
和歌浦漁港↓千島磯↓蓬菜岩↓田の浦漁港↓浪早ビーチ↓浪早崎↓雑賀崎漁港
- 奥新和歌(雑賀崎)コース(所要時間約二時間／約一・八km／約八十八kcal)
雑賀崎漁港↓雑賀崎街中↓雑賀崎灯台↓番所ノ鼻↓ノロシ場遺跡



三

不老橋
(Furohashi Bridge)

和歌浦のシンボルのな中国風アーチ式石橋。治宝が隠居後、東照宮御旅所(おたびしよ)への御成道に築造。不老不死の願いがこもる。江戸時代のアーチ式石橋は九州以外では非常に珍しい。



八



章魚頭姿山
(Takozushiyama)

パノラマ眺望の絶景ポイント。和歌浦湾をはじめ和歌山市内、遠くは四国まで望む事もできる。新吉野と呼ばれる桜の名所である。山の形がタコの頭に似たところからそう呼ばれたが、現在では高津子山とも書かれる。



この辺りは、瀬戸内海国立公園ですぞ！環境に配慮し、散策してください。



- ビューポイント view point
- ラーメン noodles
- トイレ rest room
- バス停 bus stop
- 磯 rock beach
- 釣り fishing
- ビーチ beach
- 神社 shrine
- 寺 temple
- 宿泊 hotel
- 駐車場 parking
- 食へる food
- ショップ shop

和歌の浦ゆかりの人物



和歌の浦の歴史



●聖武天皇(シヨウムテンノウ)

七二四年〜七四九年在位
奈良の大仏を造った人。
紀伊国に行幸し「玉津島の神・明光浦(アカノウウ)の御霊」を祀らせた。

●雑賀孫一(サイカマゴイチ)

雑賀衆の頭領
強い鉄砲隊を率い、織田軍に抵抗。妙見山に城を構えたと言われる。

●奈良時代

聖武天皇が行幸され景観を絶賛し、景勝係全の為、番人を置いた。随行した山部赤人が詠んだ和歌は、和歌浦を全国に広めた。

●山部赤人(ヤマベノアカヒト)

宮廷歌人
聖武天皇に随行し、詠んだ「若の浦に潮満ち来れば」の和歌が有名な一首。

●徳川家康(トクガワイエヤス)

江戸幕府の初代将軍
没後、朝廷から東照大権現の称号を授かり、紀州東照宮の祭神となる。

●平安・鎌倉時代

衣通姫が玉津島神社に祀られ和歌の名所として知られるようになった。

●室町時代

蓮如上人が紀伊国に真宗を布教し、雑賀に住む多くの人が信者となった。

●戦国時代

雑賀孫一が率いる鉄砲部隊雑賀党は織田信長軍と戦い、その後、豊臣秀吉に平定された。

●江戸時代

頼宣がこの地を愛し、東照宮を造営。紀州徳川藩は約二百五十年続いた。

●明治時代

美供山に東洋初のエレベーターが設置された。森田庄兵衛が新和歌浦を開発した。

●大正時代

路面電車が開通し、観光名所となる。

●昭和時代

幸魚頭安山ロープウェイが開通し、海岸美日本一に選ばれた。

●衣通姫(ソトオリヒメ)

絶世の美女で歌人
その美しさは衣を通して光輝いたと言われ、和歌で有名な玉津島神社に祀られる。

●養珠院(ヨウジュイン)

徳川家康の側室／頼宣の生母
俗名／お万の方。
没後養珠寺・多宝塔に祀られる。

●徳川治宝(トクガワハルトミ)

紀州徳川十代藩主
学問を重んじ、風流も好み、不老橋や養翠園などを造った。

●江戶時代

頼宣がこの地を愛し、東照宮を造営。紀州徳川藩は約二百五十年続いた。

●明治時代

美供山に東洋初のエレベーターが設置された。森田庄兵衛が新和歌浦を開発した。

●大正時代

路面電車が開通し、観光名所となる。

●昭和時代

幸魚頭安山ロープウェイが開通し、海岸美日本一に選ばれた。

●豊臣秀吉(トヨタミヒデヨシ)

戦国時代の武将
信長の家臣。紀州攻めで雑賀衆と戦った。

●森田庄兵衛(モリタシヨウベエ)

明治四二年に私財を投じてトンネル(現存)等を造り、新和歌浦を観光地にした。



【車利用の場合】

阪和自動車道、和歌山インターから宮街道、国体道路、紀三井寺交差点経由で約10km

【バスをご利用の場合】※「和歌浦口」下車が便利です。

○南海和歌山市駅・九番乗場より

所要時間約二十分前後

十 系統 マリナーシティ行き(城北橋経由)

十一 系統 医大病院行き(城北橋経由)

十二 系統 新和歌浦行き(城北橋経由)

十三 系統 和歌浦口行き(城北橋経由)

○南海和歌山市駅・十番乗場より

所要時間約三十分前後

一 系統 海南藤白浜行き

(本町・医大病院前経由)

二 系統 海南日限下行き

(本町・医大病院前経由)

四 系統 新和歌浦行き(本町経由)

五 系統 和歌浦口行き(本町経由)

○JR和歌山駅・二番乗場より

所要時間約二十五分前後

二十 系統 海南藤白浜行き

(医大病院前経由)

二十一 系統 紀三井寺団地行き

(医大病院前経由)

二十二 系統 マリナーシティ行き

(医大病院前経由)

二十三 系統 医大病院行き(公園前経由)

二十四 系統 新和歌浦行き(公園前経由)

二十五 系統 和歌浦口行き(公園前経由)

発行者「和歌の浦」みちしるべの会
問い合わせ「和歌の浦観光旅館組合」
<http://www.wakayama-net.jp/index.html>

電話 0737-441414・441419
FAX 0737-441518・441513

このマップは国土交通省の
「みなとの賑わい創出担い手育成支援事業」の
支援を受け作成しています。

二〇〇八年二月発行